

館長からのメッセージ

わたしと図書館

わたしのすすめる1冊

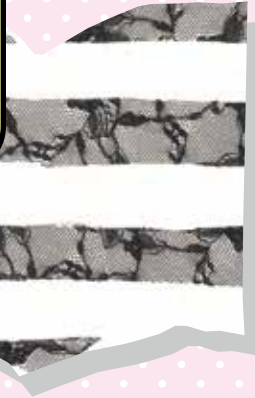
古文書・古典籍展覧会報告

わたしと図書館(教職員編)

図書館カレンダー

貸出ランキング

葛野  
の鐘



館長からの  
メッセージ

## 「深い読書」のすすめ

ある日、へそ曲がりな図書館長が職員の皆さんに「本の中で、その本自体についてふれていない本をすべて含んだ目録本(ややこしいですね)を作ってください」と依頼しました。賢明な職員の皆さんは、そのような目録本は原理的に存在しないことをすぐさま見抜き館長に説明し、館長はしぶしぶ依頼を取り下げました。これは論理学の発展に寄与した有名なラッセルのパラドックスの例になっています。

これに少し似た話です。ある日、英語しか理解できない館長が、1冊の本を渡され、小部屋に入るよう指示されました。入ると、小さな窓から紙が挿入されます。その紙には中国語が書いてあるのですが、館長には奇妙な記号の羅列にしか見えません。そこで渡された本を見ると、そこには、こういう記号列を渡されたら、こういう記号列を書いて渡せということがたくさん書いてありました。館長は本を見て、わけはわからないまま記号の列を書いて渡しました。そのようなやり取りがしばらく続いた後、小部屋のドアが開くと、そこには中国語が堪能な学長が立っていました。「いや驚いた。君は中国語もOKなんだね」館長は戸惑いました。実際彼は中国語を一切理解していないし、単に渡された本にしたがって機械的に反応していただけですから。これは「中国語の部屋」という有名な話で、コンピュータに「理解」はあるか、あるいは、この本のような中国語のマニュアルはそもそも存在しうるのかという論争を巻き起こしました。

さて、普段の私たちの生活を振り返ってみると、この「中国語の部屋」に似ている状況が多いことに気付くかもしれません。深い理解のないまま、単にマニュアルに従って反応しているということになっていないでしょうか。そこで学生の皆さんにお勧めしたいのが、一冊の本とことん向き合うことです。本の主張をたとえ話も交えながら自分の言葉で言い換えてみる、本の主張と他の考えとの相違点や類似点などの関連を明らかにする、本の主張の問題点を検討する等々。これらの作業を通して、自分にとって既知の概念体系の中での本の主張の位置づけが明確になります。これこそ「わかる」ということです。この「わかる」に通じる読書を「深い読書」と呼ぶことにしましょう。

学生の皆さん、ぜひ「深い読書」に挑戦してみてください。手始めとして、まずはこの小難しい文章と向き合ってみるのはいかがでしょうか(笑)。



図書館長 あいは ひろかず 相場 浩和  
短期大学部 ライフデザイン学科 (原子核理論)

## 🌟 寄贈図書リスト 🌟

現・旧教職員ほか (平成 28 年 1 月～12 月受入 寄贈者の五十音順・敬称略)  
この他にも学外の方から多数の図書を御寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

近江上布：赤木和代句集	赤木 和代
揺れるいのち：赤ちゃんポストからのメッセージ ほか	鮫島 輝美
地球環境クライシス：未来へつなぐ命のバトン	高野 拓樹
APA心理学大辞典 ほか	竹西 正典
「スポーツの医学」のすすめ ほか	玉里 八重子
中近世の領主支配と民間社会 ほか	野田 泰三
ソクラテスに聞いてみた：人生を自分のものにするための5つの対話	藤田 大雪
エッセンシャル栄養教育論 ほか	吉田 香 饗庭 照美





# わたしと図書館

## わたしと図書館

いまなか みえ  
今中 美栄

健康科学部 健康栄養学科  
(栄養教育論・栄養教育論実習)



図書館といえば、小さいころは絵本や物語を読むのが大好きで、小学校時代は本を借りた冊数を競う棒グラフが教室に大きく張り出され、クラスでダントツのトップだったことをとても誇らしく、母から褒められることを楽しみにしていた記憶が残っている。でも、本当に好きだったのは、絵本の文字の方ではなく絵だったみたいだ。中学生の頃になると、長編を読むことよりも一生懸命イラストばかり描いていて、将来は漫画家になりたいとも思っていた。でも、本好きは文字から絵が優先になっても変わらず絵物語や漫画本等々、本との縁は変わらなかった。本は私たちを自由な発想やイメージの世界へ連れて行ってくれる。そう、同じ本を読んでいても読み手の世界はそれぞれに創られている。そこが楽しい。

最近では韓国の歴史書にはまっている。分厚い文字ばかりの本だ。もちろん導入は、映像からの歴史ドラマである。韓国ドラマでは、歴史上の人物や史実が組み込まれながらも作者の目線からあらゆるストーリーが展開される。それは、英雄の本音であったり、また悪女といわれた女人の立場からであったり、歴史を読むことの自由さを感じる。興味を持ってまたその時代背景を探して読み漁る。歳を重ねると歴史に興味ができるらしいが、人生後半、ゆっくりと自分の人生を含め、歴史の中の人物と自由に語り合うことも本の中でならできそうな気がする。さて、今日はどの時代のどんな人に会いに行こうかな。



## 図書館の思い出とこれから

とくだ きみこ  
徳田 仁子

健康科学部 心理学科  
(スクールカウンセリング・遊戯療法)

精神科医の中井久夫先生は「自分にとって必要な本はその背表紙が光って見える」と言われていた。そこまで鋭い感覚は持てないものの、図書館や本屋を歩いて本の背表紙を見ていると、何だか気になる本があるものだ。背表紙をみたり実際に手に取ってみると、さらに感動するフレーズや図などが見えてきて、本の方から誘いかけているような気がする。論理的根拠はないが、人が本に出会う体験とは、このような恋愛体験のようなところがあるような気がする。

一方、電子書籍を試してみたことがある。確かに論文を早読みしたり、小説やコミックのストーリーを追ったりするためだけなら場所も取らず便利である。しかし、私の場合、電子書籍では読んだ内容がすぐに頭から消えてしまい、長時間読んでいると頭痛が

してくるので、やはり大事な資料は紙媒体でないと不安である。たとえば文献や資料について、過去に読んだ本のタイトルや著者名を思い出せないという場合、本や雑誌の表紙の色や材質感、図表や写真などの情報が探し出す手がかりになることも多い。本の紙の匂いや手触りなど嗅覚や触感も視覚と共に記憶の貯蔵庫にある。さらにその本を図書館で借りた場合は、本が置いてあった場所が記憶を引き出す手がかりになる。

インターネットで24時間どこからでもアクセスできる電子図書館という壮大な実験もあり、さまざまな情報が手近な所で得られる時代になった。課題となるのは情報を取捨選択する人間の側の判断力であろう。電子媒体のメリットを生かして活用するタイプの本と、図書館で時々取り出すタイプの本、どちらのタイプとするのか選択する見立ての力が大切だと思われる。

# B O O K

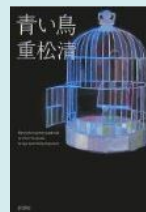
## わたしのすすめる1冊



### 「青い鳥」

いしい ゆりこ  
石井 祐理子  
医療福祉学科 社会福祉専攻  
(地域福祉・相談援助実習)

重松清著  
新潮社  
2007年刊  
3階閲覧室 913.6/ShKi



「青い鳥」という題名が気になって手にしました。吃音障害のある中学教師が欠員補助教員としていろいろな中学校に勤務する物語で、「この先生の奮闘記か」と思って読み始めたら、主人公はこの先生が気にかけて、優しく見守り、全力で応援する“困った生徒たち”でした。

日常のちょっとした出来事から場面緘黙症になった女子生徒、特別な理由も無く教師を刺し、保護観察期間中に帰省した先でカエルを100匹以上殺した男子生徒、自分の父親が起こした交通事故で、加害者の立場に悩む女子生徒、無意識に同級生へのいじめに加担していた自分の気持ちを整理できないでいる男子生徒など8つの物語に登場する中学生たちは、いずれも“困った生徒”というレッテルを

貼られて、周囲からは腫れものを触るような扱いを受けている。でもこの先生は、そんな周囲の評価に惑わされず、まず生徒と向き合っ、しっかりとその心の声に耳を傾け、大切なことをたどたどしくも一生懸命に語りかける。「自分のことをちゃんと見てくれている、信じてくれている」ことに気付いた生徒たちは、少しの自信と未来への微かな光を取り戻して、明日へ向かって歩み始める。

なるほど、題名は「大切なことは身近なところにある」ということからつけられたんだ。物事の本質とは、思い込みや偏見を取り除き、そっと寄り添うことで見えてくるものであり、“困った人とは困っている人”なのだということを、改めて教えてくれた一冊です。



### 「幸せなお金持ちになる すごいお金。」

よしだ さきこ  
吉田 咲子  
キャリア形成学部 キャリア形成学科  
(地域企業が求める人材の育成・女性キャリアの形成事例)

和田裕美著  
SBクリエイティブ  
2016年刊  
2階閲覧室 159/WaHi



「タイトルがダイレクトすぎますか？」京都光華女子大学の卒業生で、キャリア形成学科客員教授の和田先生の新刊です。内容は、おもしろいと感謝の心が満ちています。その気持ちが自信や自尊心となり、「幸せな」お金持ちにつながることを伝えた本です。

先生の著書との出会いは、10年程前偶然に、書店で手にしたことです。略歴で光華の卒業生とわかり興味を持ちました。大学生のころは人見知りで、大きな夢や目標もなかったという先生ですが、外資系教育会社の営業で全く実績を上げられない状況から試行錯誤し、世界第2位の成績を収めるまでになりました。お客様の立場になって考えた行動で信頼が得られ、お客様がお客様を紹介してくれるようになったのです。

その経験から営業コンサルタントになり50冊以上のビジネス書を出版しています。「事実はひとつ、考え方はふたつ」という発想法で人生を好転させる「陽転思考」という考えを確立し、多くの読者を幸せに導いています。営業時代にお金の大切さを実感している先生は、この考え方とお金との関係を本書でまとめています。

先生の著書はとても読みやすく、相手をおもしろい気持ちで根底にあることがわかります。他にも「女性のための一生折れない自信のつくり方」や「私は私で人間関係はうまくいく」など、是非、読んでほしいです。先輩は、女性ビジネス書作家の先駆けとなりました。みなさんの未来も未知数です。〇〇の先駆けの誕生が楽しみです。

# 京都光華女子大学所蔵古文書・古典籍展覧会



当日の会場の様子

図書館の貴重書書庫から飛び出し、平成 28 年 11 月 20 日の学園祭に合わせて展覧会が開催されました。

資料の選別から解説の作成、当日の来場者への案内まで学生の手によりました。当日の様子を朝比奈先生からご寄稿いただきました。

平成28年11月20日に、本学所蔵の貴重資料の展覧会が開催されました。この展覧会は、平成27年に続いて、2回目の実施です。会場は、賢風館4階のコモンズです。普段は学習用に利用している机を展示用に並べて、古典籍から近代文学資料に及ぶ、各種の資料を配置しました。

当日は、阿部敏行理事長、一郷正道学長をはじめ、光華高校前校長の四條文子先生が観覧にお越し下さり、たいへん充実した展覧会になりました。ご来場のみなさまに、厚くお礼申し上げます。今回は、それぞれの資料に関わる分野のゼミ学生に、展示資料の解説を担当してもらいました。そのための下調べも含めて、学生にとって良い勉強になりました。

さて、当日の展示資料から、2点を選んで紹介いたします。一点目は京都の歴史関係の資料で、「大津町文書」という一群の資料です。大津町は、現在の中京区で丸太町通をはさんで京都御苑の南側に当たる地域です。展示では、同町文書の中から、大津町指図を広げて細部まで観察できるように配置を工夫しました。この指図を見ると幕末から明治初期にかけての京都市中心部の様相が、いきいきと浮かび上がってきます。こうした貴重な資料がきちんと作成され、大切に伝えられたところにも、京都という地域の魅力と奥深さが感じられます。

もう一点は、古典籍の逸品で「角倉切」と称される古筆切です。平安時代中頃の和歌集『後撰集』を鎌倉時代に書写した写本の一部です。のちに安土桃山時代の豪商、角倉素庵が所持していたことから、この名が付けられました。内容は恋歌三首からなる、橘俊仲と大輔との贈答で、恋の涙に濡れるほど相手を深く思っていることを訴える俊仲に、私の心もご存じないのにと大輔が応じています。この古筆切の伝承筆者の阿仏尼は、鎌倉時代の女流歌人で、藤原定家の子為家の妻となり、冷泉為相(冷泉家の祖)を生みました。後に正妻の子、為氏(二条家の祖)と領地を巡って争い、幕府に訴えるため鎌倉へ下った芯の強い女性です。このときの紀行文が著名な『十六夜日記』です。



角倉切後撰集



京都大津町文書



学生スタッフのみなさん、先生方 お疲れさまでした！



# わたしと図書館

教職員編

## 「図書館とともに歩んで」

なかつか ひろこ  
中塚 弘子 大学図書館事務室

図書館で長年本学を支えてくださっている中塚弘子さんに、図書館への様々な思いをつづっていただきました。

私が初めて大学の正門をくぐったのは、粉雪の舞う2月の末でした。でも、4月12日の入学式には、一転して満開の桜が新入生たちを迎えてくれたことを覚えています。

大学のキャンパスでお気に入りの場所は図書館で、よく足を運んだものでした。当時の図書館は、キャンパスの南東部にある3階建ての建物で、現在はテニスコートになっています。閲覧室は2階にあり、図書の多くは書庫に配架されていました。最初のうちは、図書の探し方すらわからなかったのですが、ようやく書名、著者名目録から図書を探し出すことを覚え始めたころ、図書館学を勉強しようという気持ちが芽生え始めました。授業では思わぬ出会いがありました。教室に入って来られた先生は、私が小学校1・2年生の時の校長先生だったことです。10年以上前に一気にタイムスリップした瞬間でした。また、大学時代には、多くの出会いがありました。教職員の方々、友人、先輩、後輩達は皆、親切な方たちばかりで、ここで過ごした4年間は、私にとって大切な思い出であり、宝物です。

卒業後は、図書館に奉職させていただきました。キャンパスの中央部にある現在の図書館は1985年に建設され、6階建ての建物の地上3階～地下2階が図書館になっています。1990年代後半からは図書館のコンピュータ化事業がスタートし、蔵書検索がコンピュータでできるようになりました。その後、インターネットの普及や技術の進歩が図書館の発展をさらに後押ししてくれたため、電子ジャーナル、電子図書、各種データベースなど、全文を見ることができる資料も増えてきています。一方、図書館には電子化されていませんが、研究者が長い年月をかけて研究した成果である専門書も数多くあり、図書館は、まさに「知の宝庫」といえます。そして、図書館は卒業しても生涯にわたって利用していただくことができますので、卒業生の方々には、是非、利用していただきたいと思います。昭和から平成にかけて図書館の発展とともに歩んで来られたことは、この上もない喜びです。これからは、今までの経験を糧として、いつも前を向いて歩いて行きたいと思います。

## 京都光華女子大学における司書課程をふり返って

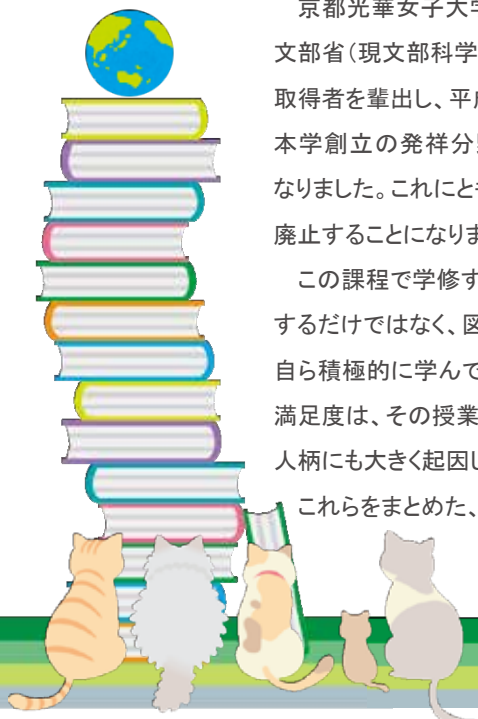
あべ いっせい  
阿部 一晴 司書課程科目担当  
キャリア形成学部 キャリア学科  
(政策経営情報)

京都光華女子大学では、昭和39年4月の文学部 日本文学科・英米文学科開設(当時の校名は光華女子大学)後、文部省(現文部科学省)に昭和45年度からの司書課程の設置を申請し、認可を受けました。その後、毎年多くの司書資格取得者を輩出し、平成28年3月までにその数は合計2,957名に上っています。一方その後、学部・学科の改組を進めており、本学創立の発祥分野であるとも言える文学の分野を引き継いでいる人文学部文学科も平成26年度から募集停止となりました。これにともない、キャリア形成学科に移管された本学における司書課程も当該学科学士の学年進行にともない廃止することになりました。

この課程で学修する内容は、図書館法という法律に規定された大枠に従ったものですが、単にそれらを形式的に踏襲するだけでなく、図書館や司書についての教育として本当に意味のある教育内容、それらを効果的かつ受講生自身が自ら積極的に学んでいける様な教育方法等、本学独自の取り組みをおこなってきました。これらの成果や受講生の高い満足度は、その授業の方式そのものだけでなく、課程を中心となり推進され授業も直接担当された、故谷口敏夫教授の人柄にも大きく起因していると考えられます。

これらをまとめた、「京都光華女子大学における司書課程の歩み」という小稿を京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部研究紀要 第54号に掲載していますので、よろしければご覧ください。

上記の紀要は「京都光華女子大学学術リポジトリ」から本文を見ることができます



# 図書館カレンダー

2016

日々の図書館の出来事などなどについては facebook にアップしています。そちらもぜひチェックしてみてください\*´▽`)/

6月

こんな図書館ツアーもあるんです

毎年図書館の使い方や論文の探し方をレクチャーする図書館ツアーを行っています。そして、こちらも毎年のように行われているのですが、光華小学校の2年生を対象に図書館を案内しています。パワー溢れる小学生に毎回スタッフは圧倒されます。



図書館ツアーについての案内は裏表紙に掲載しています！

4月から実施中

6月

和 Cafe 光庵×図書館コラボ企画 第7弾

和 Cafe 光庵と図書館がタッグを組んで、特別メニューとフェアを同時開催する企画です。今回のテーマはかこさとし絵本「からすのパンやさん」。

図書館では『かこさとし特集』を展示して

います。からすのパンやさんシリーズ以外に、子どもの遊びに関する本など盛りだくさん!! 光庵では“からすのマンゴーパフェ”発売しました。



11月

今年で5回目「古本市」

11月20日(日)、あかね祭(学園祭)の2日目に図書館では、古本市を開催しました。

5回目ということで、毎年来てくださる常連さんの顔もスタッフは覚えているほどです。1冊50円からの販売で、かなりお得な企画となっています。掘り出し物に出会えたでしょうか…?



同じ日に開催していた貴重書展覧会については別ページに特集しています

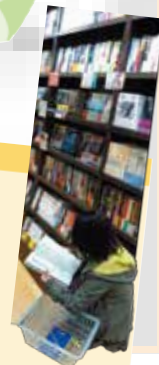
11月

学生選書ツアー

11月18日(金)に学生選書ツアーを行いました!!

選びすぎてどれも諦められないと悩む学生さんもいるほどみんな熱心に選んでくれました。

選ばれた本で「学生選書フェア」を実施しました。あっという間に貸出されていき、展示が寂しくなるほどでした。



## Information



2階・3階の本の配架が変わりました!

看護コーナーが3階へ移動しているなど、大幅に変更されています。詳しくは館内の掲示、地図をご覧ください。





# 図書館BOOK & DVD 貸出ラウンキング

みんなは何を読んで？何を観てる？ 昨年度のランキングを発表します!!

## No.1

### 基礎と臨床がつながる 疾患別看護過程

菅原美樹,  
瀬戸奈津子総監修

学研メディカル秀潤社  
学研マーケティング(発売)  
2016年刊  
N220/KISO  
3階看護コーナー



見事に上位10位まで  
看護関係の本がずらり！  
小説に限ると1位は…  
「君の臓腑をたべたい」、  
2位は「火花」でした。

3 発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 第2版	3階看護コーナー N440/HATT/(2)
4 母性看護実習ガイド	3階看護コーナー N340/HoSh
4 疾患別看護過程の展開 第4版	3階看護コーナー N220/ShKi/(4)
6 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図 第2版	3階看護コーナー N220/BYOK/(2)
6 フィジカルアセスメントがみえる	3階看護コーナー N221/FIJI
8 臨床看護技術	3階看護コーナー N220/KANG/2
9 いのち愛づる姫：ものみな一つの細胞から	3階閲覧室 912.6/INOC
10 看護過程展開ガイド：実習記録の書き方がわかる	3階看護コーナー N220/NiKa

## No.2

### ウエルネスからみた母性看護過程 +病態関連図 第2版

佐世正勝, 石村由利子編

医学書院 2012年刊  
N340/WERU/(2) 3階看護コーナー



## 図書館ツアーを活用しよう!!

図書館で行われるツアーは大きく分けて2種類あります

### 図書館ツアー

ゼミなどの授業内で実施

内容：1～2年(基礎)

PCを使った情報検索や、館内案内、  
図書館の使い方 など

3～4年(論文検索)

主に卒業論文を作成するために必要な  
データベースの使い方



### 個別ツアー

6月・10月に実施

内容：全学年

レポートや論文の作成に必要な情報  
検索の仕方や、図書館の利用方法など

※ツアー内容・時間はみなさんの要望にお応え  
します!



### 編集後記

図書館報「葛野の鐘」24号をお届けします。ご寄稿いただいた皆様には心より御礼申し上げます。今回も表紙のデザインをライフデザイン学科の井川先生を通じて学生さんに制作していただきました。ライフデザイン学科2年生の伊藤悠里さんの作品です。「小説、伝記、料理、美術など、さまざまな書籍は、私に夢を与えてくれます」とのこと、今回はイラストではなく、布によるパッチワークで様々な種類の本を表現してくれました。ありがとうございます。

今後とも図書館をより身近感じていただけるよう、紙面づくりを充実させていきたいと思います。

### 葛野の鐘 第24号

2017年4月発行

京都光華女子大学図書館

京都市右京区西京極葛野町 38

TEL (075)325-5399

E-mail: lib@mail.koka.ac.jp

HP: <http://www.koka.ac.jp/toshokan/>

<https://www.facebook.com/kyotokoka.toshokan>

